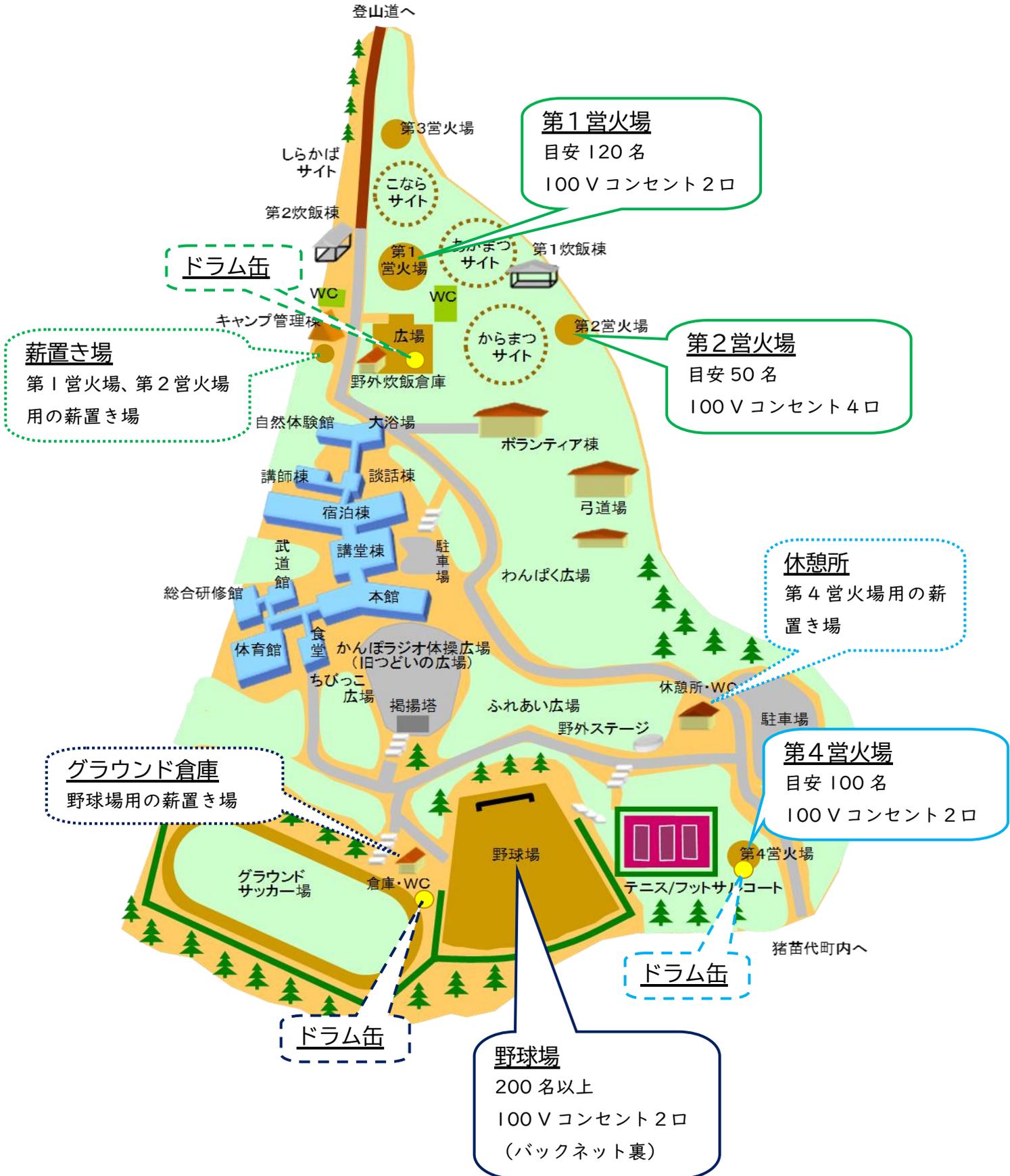


キャンプファイヤーについて

I 場所の確認



2 キャンプファイヤー薪の組み方

◎上段に井桁、下段に八角形で角材を組みます。

- ① 営火台に八角形になるように角材を3～4段組む。
 - ② 組んだ角材の中央に新聞紙を丸めて置き、4方向からトーチで火をつけるための「火口」を出す。
 - ③ さらに上部に角材を井桁に組む。(ファイヤーキーパーのために数本残しておいてもよい)
 - ④ 角材24本を組むと営火台(50cm)を含めて約1.15m程度の高さになる。その日の天候や活動時間によって高さは調整する。
- ※炎が上がった場合、火の先端は2.5m程度になる。
- ⑤ 残りの新聞紙や炊飯用薪を井桁の中に入れる。
 - ⑥ 点火の10～20分前に灯油を中に入れた新聞紙や炊飯用薪にかけて、火口になる新聞紙にも少ししみ込ませておく。(トーチ棒を利用の場合は、トーチ棒にも少しだけしみ込ませる。)

※灯油がかかったり、流れたりしないように注意する。

12段組んだ高さ

上段：井桁



下段：八角形



3 片付けについて

◎営火場のプラスチックコンテナに片付け用具が入っています。

- ① 角材や薪は燃やしきります。
- ② 灰や炭はほうきと灰取りスコップを使って営火台から取り除きます。
- ③ 灰・炭・トーチ棒は営火場のそばにある「ドラム缶」に捨てます。
トーチ棒の針金は、ゴミ置き場の燃えないゴミの方に捨ててください。
- ④ 活動後すぐに片付けをお願いします。やむを得ず翌朝に片付ける場合は、消火を十分に確認してください。ただし**水は絶対にかけないでください。**
- ⑤ 灯油の携行缶や残った灯油は、活動実施日に事務室に返却してください。

